

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 平成30年1月15日

【四半期会計期間】 第2期第3四半期(自平成29年9月1日至平成29年11月30日)

【会社名】 ダイユー・リックホールディングス株式会社

【英訳名】 DAIYU・LIC HOLDINGS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 浅倉 俊一

【本店の所在の場所】 福島県福島市太平寺字堰ノ上58番地

【電話番号】 024(563)6818(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役経営戦略室長 三瓶 善明

【最寄りの連絡場所】 福島県福島市太平寺字堰ノ上58番地

【電話番号】 024(563)6818(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役経営戦略室長 三瓶 善明

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第1期 第3四半期 連結累計期間	第2期 第3四半期 連結累計期間	第1期
会計期間		自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日	自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日	自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日
売上高及び営業収入	(千円)	44,566,629	60,814,956	65,894,966
経常利益	(千円)	1,275,154	1,852,780	1,901,077
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	794,940	1,205,574	1,108,740
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	792,950	1,269,130	1,108,077
純資産額	(千円)	12,243,934	13,437,835	12,557,547
総資産額	(千円)	52,656,874	56,197,392	52,381,208
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	67.64	81.75	88.69
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	67.27	81.36	88.22
自己資本比率	(%)	21.2	22.03	22.0

回次		第1期 第3四半期 連結会計期間	第2期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日	自 平成29年9月1日 至 平成29年11月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	15.18	14.25

- (注) 1. 当社は、平成28年9月1日に株式会社ダイユーエイト及び株式会社リックコーポレーションが、共同株式移転の方法により両社を完全子会社とする株式移転設立完全親会社として設立されました。設立に際し、株式会社ダイユーエイトを取得企業として企業結合会計を行っているため、前連結会計年度(平成28年3月1日～平成29年2月28日)の連結経営成績は、取得企業である株式会社ダイユーエイトの前連結会計年度の連結経営成績を基礎に、株式会社リックコーポレーション及びその関係会社の平成28年9月1日～平成29年2月28日の経営成績を連結したものであります。
2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
3. 売上高及び営業収入には、消費税等は含まれておりません。
4. 前連結会計年度の1株当たり当期純利益金額は、当社が平成28年9月1日に株式移転によって設立された会社であるため、会社設立前の平成28年3月1日から平成28年8月31日までの期間につきましては、株式会社ダイユーエイトの期中平均株式数に株式移転比率を乗じた数値を用いて計算しております。
5. 第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の関連する主要な経営指標等については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等） セグメント情報」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成29年3月1日～平成29年11月30日）におけるわが国経済は、企業収益の改善・雇用の拡大もあって、景気は緩やかながら回復基調を維持しております。

一方で、新興国経済の減速や保護主義的な政策動向を背景とした世界経済の不安定化のほか、日本銀行によるマイナス金利政策実施の影響も見通せず先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましても、業種・業態を超えた競争激化や企業の生き残りをかけた統合・再編の動きが活発化しているほか、個人消費は、“低価格志向・節約志向”といった消費マインドも根強く、本格的な回復には至っていない状況にあります。

このような状況下、当社グループは、経営統合後のシナジー効果創出のため、商品統合により着実に荒利益率の改善を進めているほか、さらなる成長戦略実現に向け当第3四半期連結累計期間におきましても以下のとおり積極的に新規出店を行いました。

ダイユーエイト	ホームセンターダイユーエイト白河店	(開店3月 福島県)
	ワンズサイクル会津若松駅前店	(開店3月 福島県)
	ワンズサイクル須賀川店	(開店6月 福島県)
	ホームセンターダイユーエイト南三陸店	(開店7月 宮城県)
	ホームセンターダイユーエイト高畠店	(開店11月 山形県)
	ホームセンターダイユーエイト郡山金屋店	(開店11月 福島県)
アミーゴ	ペットワールドアミーゴ小名浜店	(開店3月 福島県)
	ペットワールドアミーゴ古川駅前店	(開店8月 宮城県)
ジョーカー	DOG&CAT JOKER 東急百貨店たまプラーザ店	(開店3月 神奈川県)
	DOG&CAT JOKER WANCOTT店	(開店3月 神奈川県)
アグリ元気岡山	あかいわ農園	(開店11月 岡山県)

一方、店舗老朽化と市場環境の変化から4店舗を閉店いたしました結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、189店舗となりました。

また、3月1日には、ダイユーエイト及びリックコーポレーションのペット事業を統合・分社化して(株)アミーゴを設立したほか、(株)アレンザ・ジャパン（輸入卸売事業）を完全子会社としたことで、一連のグループ内組織再編が終了いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の連結売上高は、587億8千4百万円、連結営業利益は16億7千4百万円、連結経常利益は18億5千2百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億5百万円となりました。なお、当社は、平成28年9月1日に設立したため、前年同四半期連結累計期間との対比は行っておりません。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔ダイユーエイト〕

ホームセンター事業は、既存店ベースで、来店客数が前年同期比で2.1%減少しましたが、客単価が前年同期比で2.1%増加したことから、既存店売上高は1.7%の微増となりました。

売上高における既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、春先は、灯油販売額が伸張するような低温と天候不順により季節商品販売の出足が鈍い状況にありましたが、ゴールデンウィークを境にようやく気温が上昇し、園芸・植物、用土、肥料等の売上が伸張いたしました。夏場も長期予報に反して長雨・冷夏となり、レジャー用品等季節商品の販売が苦戦したほか、秋口に入っても10月の天候不順により厳しい環境が続きましたが、11月に入ると例年より寒さが早く到来した関係で冬物商品等を中心に売上回復の動きがみられました。加えて、当社が注力しております木材塗料、作業資材等のホームニーズ関連商品が前年対比で売上を伸ばしたほか、HD創立1周年記念感謝セールや新店開店時の全店協賛セールがお客様からご支持いただき、日用品・家庭用品等の売上も堅調に推移いたしました。

また、今期は、他業態との差別化を念頭に、従来から進めておりました「ホームセンターらしさ」を一層強化するため、農業関連素材用品の専門バイヤーを配置し、農家需要へ対応すべく品揃えを強化いたしました。さらに、自社開発商品「DLブランド」は、取扱商品が4,800品目を超え順調に推移しお客様への認知度の浸透を図っております。加えて、メーカーフェア等新企画の増加により、お客様に対し需要創造を喚起いたしました。

これらの結果、ダイユーエイトにおけるセグメント売上高は301億5千9百万円、セグメント利益（営業利益）は8億4千8百万円となりました。

〔リックコーポレーション〕

ホームセンター事業は、既存店ベースで、客単価が前年同期比で0.9%の増加、来店客数が前年同期比で1.2%減少したことから、既存店売上高は0.3%減少いたしました。

売上高における既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、春先は天候が安定していたことにより用土・園芸肥料・植物等が好調に推移しておりましたが、秋口は台風の影響や気温の低下により低迷いたしました。一方、季節商品の売上高については、冬物家電や灯油等を中心に好調に推移いたしました。また、ハッピープライス（生活応援品の月間特売）、チラシ掲載商品の価格訴求、各種キャンペーン等を強化したことから一点当たりの商品単価が低下しておりますが、お客様が購入される販売点数の増加につながっております。また、お客様に支持していただくために、「ダイユーリックHD誕生1周年祭」等の販促を実施いたしました。売上高及び来店客数は前年未達となりました。

そのような状況の中で、家族で楽しく過ごせる地域密着型ホームセンターへ進化するために山陽店の改装、不用品買い取りイベント、シニアデー5%割引セールや、ポイントカード会員入会キャンペーンを行った他、シニア会員限定スタンプラリー、カード会員様限定旅行キャンペーン等、ロイヤルカスタマー政策を実行しております。また、教育プロジェクトでは、様々なお客様のご要望にお応えできるようにレジコンテストの開催や従業員の資格取得を推進する等人材の育成を図っております。

販売費及び一般管理費につきましては、備品消耗品や水道光熱費の節約奨励や、作業計画に合わせた綿密な人員配置を行うことで残業時間の大幅な削減を進めている他、間接部門の経費削減を行うことで必要コストの圧縮を行っております。

これらの結果、リックコーポレーションにおけるセグメント売上高は119億5百万円、セグメント利益（営業利益）は3億3千3百万円となりました。

〔アミーゴ〕

アミーゴはダイユーエイト、リックコーポレーションのペット事業を統合・分社化し、3月1日より全国60店舗展開で事業をスタートいたしました。

ペット事業は、既存店ベースで、来店客数が前年同期比で0.3%減少した一方、客単価が前年同期比で0.7%増加したことから、既存店売上高が0.4%増加いたしました。

ペットの健康、美容にこだわりを持つオーナー様が増加傾向にあることから、主力商品であるプレミアムフードを中心とした専門店商品の販売力が向上したこと、マイクロバブル、炭酸泉といったトリミングに付加価値をプラスしたサービスの普及が進んだことにより客単価を伸ばさせることができた一方で、他業態を含む競合他社による新規出店、価格競争の激化等の外部環境要因による来店客数の減少により、ペットシーツ、猫砂等の消耗品の販売数が落ち込んでおります。

そのような状況の中で、ダイユーエイト、リックコーポレーション両社の仕組み・ノウハウを継承したアミーゴは、それぞれの取り組み、サービスを全店舗に水平展開し、全店統一したサービスの実現、接客知識の習得、技術の向上に取り組んでおります。従来の愛玩動物である犬、猫に追随する様に、飼育しやすくトレンドになっているウサギ、ハムスターなどの小動物、爬虫類の販売強化、イベントの取り組み、専門知識を有した従業員の育成強化等、量販店とは一線を画した店づくりに徹することにより、ペット専門店としてのアミーゴブランドの確立に努めております。

これらの結果、アミーゴにおけるセグメント売上高は118億3千3百万円、セグメント利益（営業利益）は2億8千2百万円となりました。

〔その他〕

セグメント売上高は95億6千8百万円、セグメント利益（営業利益）は4億7千1百万円となりました。

（2）財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の財政状態としましては、総資産が561億9千7百万円、負債が427億5千9百万円、純資産は134億3千7百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は22.0%となりました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成30年1月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,174,203	15,174,203	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	15,174,203	15,174,203		

(注) 提出日現在発行数には、平成29年12月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年9月1日～ 平成29年11月30日		15,174,203		2,000,000		9,104,041

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 428,500		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,596,400	145,964	同上
単元未満株式	普通株式 149,303		
発行済株式総数	15,174,203		
総株主の議決権		145,964	

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成29年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己所有株式) ダイユー・リック ホールディングス株式会社	福島県福島市太平寺字 堰ノ上58番地	428,500		428,500	2.8
計		428,500		428,500	2.8

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成29年9月1日から平成29年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年3月1日から平成29年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,105,454	5,572,882
売掛金	555,727	795,448
たな卸資産	13,664,261	14,941,996
その他	1,679,844	2,146,199
貸倒引当金	3,213	2,812
流動資産合計	21,002,074	23,453,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,006,349	31,936,488
減価償却累計額	17,870,448	18,445,399
建物及び構築物(純額)	12,135,900	13,491,088
土地	4,327,385	4,317,448
リース資産	2,640,333	2,695,251
減価償却累計額	1,115,894	1,219,071
リース資産(純額)	1,524,438	1,476,180
その他	2,885,090	3,481,381
減価償却累計額	1,533,404	1,616,902
その他(純額)	1,351,686	1,864,478
有形固定資産合計	19,339,411	21,149,196
無形固定資産		
のれん	2,395,236	2,303,111
その他	1,893,131	1,889,910
無形固定資産合計	4,288,367	4,193,022
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,361,147	5,311,678
その他	2,452,392	2,151,867
貸倒引当金	62,185	62,085
投資その他の資産合計	7,751,355	7,401,460
固定資産合計	31,379,133	32,743,678
資産合計	52,381,208	56,197,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,688,948	5,460,398
電子記録債務	3,000,477	6,045,418
短期借入金	4,550,000	1,050,000
1年内返済予定の長期借入金	4,374,749	4,411,540
リース債務	530,194	528,151
未払法人税等	259,836	711,882
ポイント引当金	293,980	293,329
転貸損失引当金	46,712	41,912
その他	3,336,870	5,184,340
流動負債合計	21,081,768	23,726,973
固定負債		
長期借入金	13,975,625	14,439,383
リース債務	1,280,870	1,234,984
役員退職慰労引当金	71,670	76,582
転貸損失引当金	40,259	9,900
退職給付に係る負債	432,382	442,628
資産除去債務	973,424	984,334
その他	1,967,659	1,844,770
固定負債合計	18,741,892	19,032,583
負債合計	39,823,660	42,759,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	4,375,368	4,375,368
利益剰余金	5,249,950	6,072,124
自己株式	164,809	166,575
株主資本合計	11,460,509	12,280,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91,512	111,752
退職給付に係る調整累計額	17,655	11,644
その他の包括利益累計額合計	73,856	100,107
新株予約権	41,614	41,614
非支配株主持分	981,566	1,015,195
純資産合計	12,557,547	13,437,835
負債純資産合計	52,381,208	56,197,392

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	42,891,873	58,784,584
売上原価	29,871,229	39,541,509
売上総利益	13,020,644	19,243,075
営業収入	1,674,755	2,030,371
営業総利益	14,695,399	21,273,446
販売費及び一般管理費	13,530,925	19,599,222
営業利益	1,164,473	1,674,224
営業外収益		
受取利息	19,236	24,513
受取配当金	9,223	5,262
受取手数料	162,329	264,253
その他	82,885	104,578
営業外収益合計	273,675	398,608
営業外費用		
支払利息	107,952	144,821
借入手数料	25,307	52,364
その他	29,735	22,865
営業外費用合計	162,994	220,051
経常利益	1,275,154	1,852,780
特別利益		
固定資産売却益	1,828	2,363
受取損害賠償金	2,757	46,015
受取補償金	-	78,594
段階取得に係る差益	71,000	-
その他	2,079	10,813
特別利益合計	77,666	137,786
特別損失		
固定資産売却損	3,175	4,258
固定資産除却損	11,781	9,809
減損損失	3,326	5,509
その他	769	7,589
特別損失合計	19,052	27,167
税金等調整前四半期純利益	1,333,767	1,963,398
法人税、住民税及び事業税	477,555	808,547
法人税等調整額	30,692	88,431
法人税等合計	508,247	720,115
四半期純利益	825,519	1,243,283
非支配株主に帰属する四半期純利益	30,578	37,708
親会社株主に帰属する四半期純利益	794,940	1,205,574

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	825,519	1,243,283
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	38,776	19,836
退職給付に係る調整額	6,179	6,010
繰延ヘッジ損益	28	-
その他の包括利益合計	32,569	25,847
四半期包括利益	792,950	1,269,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	761,069	1,231,825
非支配株主に係る四半期包括利益	31,880	37,304

【注記事項】

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
(会計上の見積りの変更)
<p>第1四半期連結会計期間より、連結子会社である株式会社アミーゴが運営するペット専門店の一部において、通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、売価還元法による低価法を採用していましたが、売価還元法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。</p> <p>これは平成29年3月1日付で株式会社ダイユーエイトおよび株式会社リックコーポレーションがそれぞれ営むペット事業を統合・分社化したことにより店舗運営の統一性、効率性を高めることを目的として、仕入・物流・販売に係る基幹システムを変更したことに伴うものであり、平成29年3月1日より新基幹システムが本稼動したことによるものであります。</p> <p>これにより、従来の方と比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業総利益、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益が60,095千円増加しております。</p>

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
減価償却費	983,158千円	1,241,745千円
のれんの償却額	30,708千円	92,124千円

(注) 前第3四半期連結累計期間の減価償却費及びのれんの償却額については、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

1. 配当金支払額

当社は平成28年9月1日に株式移転により設立された共同持株会社であるため、配当金の支払額は取得企業である株式会社ダイユーエイトにおいて決議された内容を記載しております。

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月18日 定時株主総会	普通株式	120,040	13.00	平成28年2月20日	平成28年5月19日	利益剰余金
平成28年9月30日 取締役会	普通株式	120,040	13.00	平成28年8月20日	平成28年10月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成28年9月1日に株式会社ダイユーエイトと株式会社リックコーポレーションの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は2,000,000千円、資本剰余金は4,375,368千円、利益剰余金は4,936,151千円、自己株式は163,295千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月26日 定時株主総会	普通株式	191,707	13.00	平成29年2月28日	平成29年5月29日	利益剰余金
平成29年10月19日 取締役会	普通株式	191,693	13.00	平成29年8月31日	平成29年11月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	ダイユー エイト	リックコーポ レーション	日敷	計		
売上高(注)2						
外部顧客への売上高	31,840,377	6,547,536	4,910,410	43,298,325	1,268,303	44,566,629
セグメント間の内部 売上高又は振替高		11,495		11,495	1,094,252	1,105,747
計	31,840,377	6,559,032	4,910,410	43,309,820	2,362,556	45,672,376
セグメント利益	1,020,103	17,315	71,635	1,109,054	57,487	1,166,541

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイユー・リックホールディングスにおける取引等のほか、ダイユーエイト、リックコーポレーションそれぞれの関係会社が含まれています。

(注)2 売上高には、営業収入を含めております。

(注)3 セグメント利益又は損失は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,109,054
「その他」の区分の利益	57,487
セグメント間取引消去	11,563
のれんの償却額	30,708
固定資産の調整額	19,026
その他	1,950
四半期連結損益計算書の営業利益	1,164,473

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当社は、平成28年9月1日に株式会社ダイユーエイトと株式会社リックコーポレーションが、共同株式移転の方法により両社を完全子会社とする株式移転親会社として設立されました。当第3四半期連結累計期間において、本株式移転に伴い全社資産としてののれんが2,456,652千円増加しております。

なお、のれんの金額は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	ダイユー エイト	リックコーポ レーション	アミーゴ	計		
売上高(注)2						
外部顧客への売上高	29,765,664	11,644,988	11,833,250	53,243,904	7,571,052	60,814,956
セグメント間の内部 売上高又は振替高	393,852	260,598		654,450	1,997,529	2,651,979
計	30,159,517	11,905,587	11,833,250	53,898,354	9,568,581	63,466,936
セグメント利益	848,039	333,030	282,714	1,463,783	471,485	1,935,268

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイユー・リックホールディングスにおける取引等のほか、ダイユー・リックホールディングス、ダイユーエイト、リックコーポレーション及びアミーゴそれぞれの関係会社が含まれています。

(注)2 売上高には、営業収入を含めております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,463,783
「その他」の区分の利益	471,485
セグメント間取引消去	204,894
のれんの償却額	92,124
固定資産の調整額	41,824
その他	5,850
四半期連結損益計算書の営業利益	1,674,224

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より連結子会社であった株式会社アミーゴに対して、3月1日付でダイユーエイト、リックコーポレーション両社のペット事業を会社分割したことにより「アミーゴ」を新たに報告セグメントに含めております。

また、前連結会計年度において、報告セグメントとしていた「日敷」は、量的な重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントにおいて、「日敷」の売上高4,773,098千円、セグメント利益100,986千円が減少しており、「その他」が同額増加しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成すること及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報を、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成することは実務上困難なため、当該情報については開示を行っておりません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度より連結子会社であった株式会社アミーゴに対して、3月1日付でダイユーエイト、リックコーポレーション両社のペット事業を会社分割したことにより「アミーゴ」を新たに報告セグメントに含めております。

当該会社分割により、「ダイユーエイト」の資産の金額が547,073千円減少、「リックコーポレーション」の資産の金額が4,233,278千円減少し、「アミーゴ」の資産の金額が4,780,351千円増加しております。

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

平成28年9月1日に行われた株式会社リックコーポレーションとの企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、のれんとして計上していた金額の一部を組み替えております。

この結果、前連結会計年度末の無形固定資産の「その他」は152,100千円増加し、無形固定資産の「のれん」は106,165千円、投資その他の資産の「その他」は45,934千円減少しております。

また、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、無形固定資産の減価償却費が増加したこと等により、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ588千円減少しましたが、法人税等調整額が588千円減少したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益に与える影響はございません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	67円64銭	81円75銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	794,940	1,205,574
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	794,940	1,205,574
普通株式の期中平均株式数(株)	11,751,170	14,745,922
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	67円27銭	81円36銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	64,459	71,417
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

- (注) 1 前第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益金額は、当社が平成28年9月1日に株式移転によって設立された会社であるため、会社設立前の平成28年3月1日から平成28年8月31日までの期間については、取得企業である株式会社ダイユーエイトの期中平均株式数に株式移転比率を乗じた数値を用いて計算しております。
- 2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の普通株式増加数は、当社が平成28年9月1日に株式移転によって設立された会社であるため、会社設立前の平成28年3月1日から平成28年8月31日までの期間については、取得企業である株式会社ダイユーエイトの普通株式増加数に株式移転比率を乗じた数値を用いて計算しております。
- 3 前第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益金額は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により算定しております。

2 【その他】

第2期（平成29年3月1日から平成30年2月28日まで）中間配当については、平成29年10月19日開催の取締役会において、平成29年8月31日の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	191,693千円
1株当たりの金額	13円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成29年11月6日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年 1月15日

ダイユー・リックホールディングス株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 富 樫 健 一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 満 山 幸 成 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているダイユー・リックホールディングス株式会社の平成29年3月1日から平成30年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成29年9月1日から平成29年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年3月1日から平成29年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ダイユー・リックホールディングス株式会社及び連結子会社の平成29年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。